大和本草卷之、 要草/如心 味甚アナク厚シ城補スヘン四月三数ス色赤シ其葉 、除すいアハリアリ春白花ラヒラク並ョハクシテ 蛇苺ナト樹モ多しいキイチコハ懸め子ナルへと 種類多し草苺黄苺カラ苺唐苺冬苺ア 本草綱目ラ考ル三草梅ナルへン筑紫三テ 木實日果草實日藏 八虚冷人人不可食〇又一種丰人 草之四

葉有兩义者有無义者〇又一種寒苺アリ是蓬 葉八唐イチゴニ少似了甚小也莖六刺多クシテ玖 食性アン〇カライチコ京都ノ市園ラリを意 スル時カハル故二名付とと ()蛇苺八不可食 冬熟ス筑紫ニテハ特シラスト云ツ子ノイチョト熟 薬ナルヘングイチコト云葉大ニシテ蔓長シ其實 シ近年中華ヨリ來ルユ~山野ニハナレ〇又一種野 現花ノ並三似タリ〇唐イナコ葉モ並モ大ナリ實 是本州ノ韓田藤ナルへン小見食ス能泄利ろ不可 生ノ毎アリ枝甚繁榮ス其根苞生ス其葉大が発 キイチコヨリョン根ヨリ苗多ク生ン六繁茂ンマ ハイツレノイチョョリモ大ニレテ色黄ナリ味ョレ性 二似テ色赤ク味スキ物アリ性味キイチュニラトル 食之不害入〇物類相感志日瓜得白梅而爛然 州真祭村ヨリ上品出ル故ニョキルブマクハト云 テアレクダレト云蔓草ニア三葉ナリ莖三刺アリ 脾胃虚冷ノ人八食ベカラス但核瓤ラ去蒸熟レテ 食フヘン氣味生ナルニラトラス陶弘景日熟瓜除糖 〇アングダン田間二生ンテ五月二熟スツ西州ニ 京都江戸泉州境濃州等處ぐ二上ロアリ農

プロスセス

西八 と八竹籃三宮と收と丁二二個ライテ食フへと性味と ラス軽卒ナル圏コンラ以テ人ラ殺ス者アリ〇瓜ラ牧る 枚ラ食ハレメテかシ事奇效良方二ノセタリ是北曾 西瓜未可有不知以何物那之子若八古了一丁其 寬永年中初自**與邦來義堂後小松院時**人此時 詩云西瓜今見生東海剖破含王露渡今按此種 ラユラハス味ラユラブ松二人ノ形美大ナルラ取用に モニョクナル新レク硬キハ虚人三不宜〇破瓜ノ年俗 テ其人ノ心ノ善惡ラヱラハサルラ貪人ノ瓜ラ買豆 三以被瓜爲三八字楊文公談死三出名り○瓜公大小 ノ症ニハ熱ラ去テタカルへン定法トメ人ラアヤマルベカ テ膿血惡痢ラ病テ痛不忍三水ラ以群瓜ラヒタン数 此事本華三不載サレモ其為害必然り暑一傷ラレ 瓜和名字利篤信日今俗書為布里者非也 上フ後魏書三見エタリ又陶淵明モイヘリ和名鈔 有食滞腹痛時食フヘカラス瓜ラ屢食八月ヲ患ラ 草三見ユルラ食フニ必サ子ラ去へい天氣風凉ノ日及 ラい食瓜而傷ラル三梅ホレラ食スへレ又小ラ食ノ傷 ラルニハの野香上西トラ用了解ス又鹽湯ラ用工皆本 日本僧義堂空花集第一和西瓜詩アリ其

プロス直は八

淹ニソ食ス 氣ラ下ス事胡瓜ニサリ自疾ニ無妨白肉八鹽 二比不二性彌冷滑ナリ然共胡瓜ノ如停滞せス上 食之消暑京都二八軍文延寶八間三初丁西瓜八種 リ朗瓜ろ丁二終リ魔暑未退時此物盛出ツ世人 種とテ近年又來レルヤイフカレ其核黑紅二種マ ラウラ今八多と人賞之脾胃虚冷ノ人不可食胡瓜

沙糖 諸州ヨリ來心甘蔗上云草三テ煎ス上云甘蔗八葉八黍 六唐以前ョリ中國二在シ上云か日本三个八外國 タリ異國三テ娘之一番二水糖ラ取二番二白糖三番 二似タリ無子宿根ヨリ苗多ク生ス並ヲ快ミテモ生 日砂糖中國無之唐太宗時外國貢來學斋佔筆 アリテ沙糖ラ煎ス色黄黒也〇砂糖煎 味輕」異國二八諸國二沙糖アリ長崎三諸國三一來ル ス昔年長崎ニモウヘント云沙糖香上云ヘリ並八竹二似 國ヨリ來ル事近シ中華ニモ上代ハナレ老學養筆記 鈔等ノ古書ニノせス節用集下學集ニハノせタリ典 南京ラ最為上古四遇難八紅黄色十り薩州二七寸蔗 三黒糖ナナル白黒共三数品アリ水糖ラ末レタル性 日本二上代ハナン放延喜式令ノ義解順和名 佛手柑生

ス大田双主る人

充了食ス番名カルメイルと云 スクヒトリ磁器二入しヒヤン堅マリ如浮石成リタルラ果ニ **薑天門冬冬瓜浦樹金橘等皆煎スへ」**蜜煎ハナ 人ハコホリサタウニ難子白ノ生ナルラ和シテ煎レ沸る り長崎ニテ砂糖ニテ煎レタルラモ蜜清上科スン番

アコダル コダー訓スルハ狭しり 長ク其葉蜀葵三似了大十り黄花ララク南瓜ラア 京都三多と南瓜二似アルナリ味不好其夢

錦荔枝 蒲萄及八葉三人似名了鄉力棚三隻可引夏黃花 名ツルイント云春核ラマク蔓草也葉ハ

ランラク秋三至下實ル如瓜皮ハ茘枝三似テイボ多い リテ不敗又酒ニカモスヱビ除上云色ハ紫黑色也ブ ス核偏し皮ワカキ時為蔬食フ味不美、 色ウルハン故三輪三書子賞之ナカコノ味中ン小見食 熟スレハ黄ナリ皮サケテ動アフル紅色ナリ皮動ノ 和名子で十云其實住果十り能收べ八春一子名

金書器葉上蔓八似瓜而小其實如雞卵圓小而美 澤可愛與甜瓜同時出于食物本草松於野灣 今續字 東日徒數切音淡俗呼鳥卵為空幕信

ダウノウミタル色也

花冬月其實紅也園三ウヘテ愛玩ストン個根ヨリ春 俗ニヒョドリジャウゴト云ホロレハ古歌ニ大井川ニョメリ 月又生入蔓モ冬不枯ノ來春葉ラ生ス和名ホピ人 畫譜及草花譜三雪下紅上云八七一物也葉似本生 謂金養蛋上人其色如金其形似發那也 が 本州蔓草三文排風子云其實日鬼目又唐詩 似為而小寶色黑似豆葉出于本草 冬不枯草本八其夢柔軟三八秋冬枯二春發 生ス或草本ニモ冬不がモノ稀ニアリ 水本アリ草本アリ水本八其藤如木ラ

製英 心小兒食フ酒ニツクル性ヨン本草二見ユタリ其葉え陰 豆ラニュワリタン形三似タリ陰處石三附テ生ス本州 乾ニンモミテモグサトン 疣馬ホクロニ 灸スョクラツル アレト云野葡萄ナリ其實如大豆之大熟スレハ色黑 和名ラスビト云此草蔓モ葉モョク葡萄二似タル放イス 石草類三載文功能多い (り和名ガ子ブト云是亦補萄三似タリ本草三根 京ニテイヌユモト云西土ニテカラミト云葡萄ノ 本草蔓草門二出以根紫色春生之冬枯上 ッピバイノラタイマウナル禁連リジケリ又大

改岐二後漢アリカラミハ多クカ子フハ火レカラミ ヨリモ浦南ニョク似タルハカ子ブ也 子フハ根ノ味シブレ根三粉プリカラミニハ粉ナシカラ 或酒三和ノ付ル砂方也甚颗アリ又救荒本草蛇南 等分温場三調和心患处三付心熱毒三八勿用に鉄 えハ葉、岐フカクカ子フハ後レ或日嫁珠老葉カル 荷アリ三才圖繪草木第十卷有蛇菊是亦紫萬十 いい 蔓生葉似菊而小花街子如 豌豆トイイカカ ナリ和方一切無名腫毒ニガ子フノ根ノ末糯米粉ト 皮癬腫惡瘡ラ治ス橋末醋和封之ド云八り是柳藥

タノナリニ似ダリ秋ヨク和紫ス 云葉並ラタテハ乳汁ノかクナル白汁出ル故也葉八如 又若葉ラ煮テ食ス味ヨシ園株三ウヘテ食品トスへ シニンテ火ニタケバ諸惑臭ラサル刺ト溝ラ掃除スルニ 三婆婆針袋兒ト云内三白郷アリ生ナルラ小兒クラフ 質八袋ノ如ノ縣瓜ノ形二似テサキ尖心故二中夏ノ俗 事我ニノアック長レ末火n 我禁ニテガフナー云其 レ葉モ實モ食フコト本草ニモ見へタリ 其葉ラカゲボ 本州裕石ノ下ラリ今俗はキダクサト云せち 和名かごうかえいガイモガブーモ京都三大千分

フヘン良薬トスヘン 其功效子り本州六此事ラモス此草虚ラ補に精氣 ラ益心陰道ラ強クス性好心葉八厘毒ラケレ綿八金瘡 其惡臭忍らガタキニ一性ラタケバ立トコロニ消入又 生ナル葉ラモンデナラ用テチニヌリテー。寝臭アレラ去ル ノ血ブ止ム汁ハ赤腫ニジケ・蛇ノクトダルニ付ル本草考 大彩本草华

**み**青 皆似雜摩但氣臭根索給子園大如豆生青熟亦 為異此則蘇恭所謂女青似雜葉陳藏器所謂二 物相似者也本草源軍下女青集解時珍云女 本草綱目蘿摩集解時珍,云一種並葉及花

主團兒 青有了一一是縣生乃蘇恭所說似薩摩者一種草 雑摩ノ下ニノせタリ 本 那ノ方葉ニヘクソカツララ り一處ニアレハ混レア辨カタレ其夢甚繁茂ス本草 ツラー云葉スコン雑摩二似テ臭ン花ハ雑摩三相似を 生則蛇銜根也〇今按蔓草ノを青八俗名へクソカ 生葉以菜豆葉微尖附苺三葉槽生一處根似土 百部ト云非ナリ 二隻草ノ女青ハ別ニ名目ラ不宜故ニ性能ラ不載只 一名地栗子出新鄭山野中細莖延蔓而

**瓜兒根殺團味甜出于 救荒本草今按ラホトハ山** 

大田太田沃大

味苦ト云八異リ本草二十七老有土芋ホド、訓ス 同一寒皮黑根白 ト云葉ト根ノ形ト皮ノ色トホドニ 異り別物也又本草蔓草類九仙子モホドニ似タリ 中,作蔓赤莖葉如小桑根如雞鴨那而長三五枚 イム又白飲ヲホド、云人アリ本草ニハ白飲多在林 林二生人二葉根圓クレテギノ如心地中二根蔓長ク 食スレハ味甘美三ノ薯藤三似タリ土民ノ日鐵器ラ ノ芋ノ如クナル物多ク連線ル蔓ラ見テ一根ラホリ得 い根ラタンチテン、ケルス根ラ数多ホリ出ス煮テ

蔓細子を 垣及石 八八花五出毎片其末皆戻しり 為異花石三丁丁八八八八百年草原始日生陰歷處凌 見食スマガキノガッラト訓ス八非也舊事記日本紀二 花果二似タリ其蔓コシ本草三木蓮十云其實八月 小ナリ白と歴年久者八四五月二小白花サク香アり其 ル小ナルハ大ナルト別物ノ如シ壁ニヒロク延襲ハビコル 以後中實ス八月以前八實ノ中虚ナリ熟ノ味甘シ小 木蓮子ライタラー訓ス数年ラヘテ後葉厚大ラ、實ナ イを也木饅頭 ト云其葉木犀二似テ其實無 其葉橋ノ如う又五味子ニのタリ花ハ梔ニ似テ 人大田八首 送之人

正木ノカツラ 其葉花置下モニュュニー同シ只其カツラ甚 長心皮ノ中に終アリュニノ如心漢名シレス是杜仲ノ別 今集戸ニモカケリ此かっときナカクノブル放ナルへい 其葉小于指頭厚實木強面青背淡有兴葉圓葉 種ナルヘンマュョラ正木上云夢生一木生トノタハリョテー 物台上し和語に長き一云枕詞三サキノカツラト云古 冬不凋葉似細橘蔓延於木石之上並節者處即 一種一物也蘸茶回達樹生者葉大而薄 生根鬚,包於木石以此得名今按三冬之葉了了其餘 \*本華及原始·イヘルから時珍云其曼振之有白汁

神スジメウリ リアノハ岸ノ側三多し キ草ト云又イトカグラト云西図ニテハナカグラト云ツルア トラス京都近邊ニテカニグルスカンツルト稱ス江州ニテタン 七月二日二乾レタン三金砂アリ唐ヨリ來三性ラ 京都ラテンタリト云科 瓜ノ類ノ姫瓜ニ、非ス野

生人要求王瓜括樓三次タリ東下三有景チメリ括樓ノ

大大中大草文八

レハ下三實付テ残ル食器が益ラ去テ食を風力如い西土

れ三子アリ海に多クタガナリミテリ實ノ半上ノ皮ラ去

如シハ九月實ヲ結ラ實ノ大井如木機子小ミンテ九シ

心根八括葽王瓜二似又漢名不詳 一部俗ヨメノコキト云氣味瓜三似タリ是王瓜ノ類ナルへ

五八龍 癬ノ禁ニかへ用ユ有效 共云ツルア・チャト云物コンに似タリ葉並ラ陰乾こと亦 =多心蔓長ノ艦ニハフ本草綱目蔓草二載之鳥蘇母 其葉ハカナムクラニのダリスンラテニのタリ處と

積雪草 ナリ又圓ナルモアり花紫也食シテ氣味如薄花本草ニ 胡薄荷广玉云 経地三生又葉ハツホ草三似テ圓ラ如鏡並方

一覧而軍此スハリ多シ三月開黃花本草·合へり毒草 花尤毒アリロ邊三近ツクヘカラス ミノサヤナリジャケツハ雲實ナリ別物ナリ河原三生 ラフチ上訓シ又蛇結上云誤ナルへと見焚ハサイカンノ 類ラス京都東河原ミアリ順和名抄三包焚ラカハ 實ハ其クキ地ノ結レタルニ似タルユへ又ジヤケット云其 スル曼草ナリ其莖ニハリ多し花ハ黄ナレモ形藤ニ 似タとへカハラフチト名ック 包炭ノ花ハ藤三似ス雲 葉如槐其實獎似皂角其樹小而不高恰如

イタル筑塔ノ俗カメイハラー云葉ハ柿ニタテタテニニ

1 Dode of

其並ハリアリ山野三多ク生ス長二三四尺二

**芩ナリ別物也裁契八居蘇二入用ユ** 徐アリ葉横三にロクアツン赤質アリ大豆ノ大サミンテ マルン世俗アママリナランシ山歸來トス山歸來ハ土茯

松蘿 知是不らとカケ八地ョリ生ス寄生ニハアス然陸機詩疏 ツラ也にカゲノカツラノ車我邦古書三多シ日本 紀神代 生スル寄生ナリ今本那三松雄ラヒカゲノカヅラト訓ス未 リナ多っ生スサルラカセトモマツノコケトモスコケニ似タルカ 青長如常してヘルハヒカケニョク似タリヒカケノカッラハ實ア 松蘿蔓延松上生枝正青爾雅翼無練夢上云又 一名女羅本草綱目寓木類ラセタリ松樹ノ上三

上以雜為手織十八り長十

名の歌の題三井おります

アリ紫雅抄三日カゲノカッラ

ニアカチガス朝日ノ里ノヒカケ草豊明ノカサンナルへントヨ ラ古今集三山かうトランリ文新古今祭主輔親カ哥 トモストアリイガランケー云物山中ニアリ松麓三井 メルモ是ナリ神祭ノ特神人ながレニスルモノナリ ス別物ナリ但松をラモガガリコケト云ニヤヒカケノカツラ

葉八蓖麻!似テ小也路傍!多心本草ニノレリ功

解アリ

和地利 並葉黑焼ニメー切りたこ付于治文 夢弱心夏秋ノ間青白花ラ開ク子ラ結フ熟スン八黒シ 本草こんなり養多く禁三似テ華赤レハリアリ

採ラツ 付ルツタニ似了多月モ禁シチス皆本草ニイルカ如し倭 俗壁生草上云秋八紅ナリ文常ノツタ八是三似タリ多八 本草綱目蔓草木蓮ノ附録ニアリ葉ハ衣ノ紋ニ

草解 恭日蔓生葉似著蒙須日葉作三义似山著根黃 日本三十ヨリ単解ラーコト一訓ス是也本草、慈

又水上コロトモ云トヨロのか葉を根を大三とう堅し食 救荒本草五十一卷三野山藥ラ、石タリ是亦上コロナ ス甘苦之性冷利也多食へ八消化シタシ牙路ノ痛ラ去 ニモウノエアニッグハ味尤ョン煮テ皮トにケラ去テ果ト 日東北ココモ草解ナリラニトコロハ恰特珍所云ノ如こ ナリ特珍力就八前三就上異ナリ是鬼トコロナリ然ハトコ 大者如商陸而坚个按三林上領上力說八無疑上コロ 白色多節時珍日葉似接勢而大如盌其根長硬 胃虚冷ノ人不可食とが長き故三國俗野老上書ク〇 スタラス〇上コ只黄白二色アリ山ニ自然三生スス風

一鐵線花 其蔓細ニンテ堅シ其葉三葉アリ三四月花 發入先朱 墨ラ多クスリテ後數 日ハトコロシ用テスル 開ク紫白二種アリ又一花ノ内紫白相マンハモア へン墨スル硯ニモ用ュへい コロラケッリ下ラ直ニメ墨トシテ朱硯ラスルニ能朱色ラ ス或飯ノ中三・セテ食ス味ヨレ民食ヲ助ク○乾タルト 煮テ流水三一夜浸せ八苦味コトくク去ルコレラ煮テ食 或書ニョリテ名異〇機健ラ教ニトコロラヨヨ切能 り葉モ夢モ山薬ニ似タリ凡名異ニンテー物ナルモノ多ン

絲牡丹コン八鼓子花ノ事ナリ草花譜纏絲牡丹鼓 附而生花有此乃態度甚小纏縛小尾花開欄然 八十五人下川本草族花時珍云千葉者俗呼為纏 亦有雅趣又三才圖繪ニモノセタリ疑是鐵線花ナル 草下三鐵線草アリ其形狀不詳コト別物ナリ三 于花ヲ別ニ出セリ軍葉ト干葉トラ別えたたいえるか 同類別種ナリ花亦白色紫色淡紫アリ本草山 九一十云物アリ是亦蔓草ナリ鐵線=似テガレト ア其内細葉アリ高源草花譜三 纏枝牡丹柔枝倚 才圖繪ニモアリ別物ナリ〇四月蔓ラ地ニ埋へ根生ス り花ノハリラチテル残ル井残ルトコロ軍業ノ菊三の アナアマスコースノ

高黎 國俗仙人草又了少分上七云夏白花四出一 カラクシテタテノ如をぬラガセハムラッ毒草ナルへと和方 之本草石草類三仙人草與此別ナリ高タテハ葉ノ味 仙人膏其汁ラ取テ松脂ニ和シラ膏藥ニテ八腫毒ラ ク莖方ナリ花蓝白クノ如梅本草其餘ノ書三テ末見 水春 分き栽っ

テハ飛廉ニアラス 飛麻ジュホテト訓ス飛麻ジモンホテト云ニマイフタドレホ 東八看積三似子名子三筋多之食スへし先輩ノ就っ

松房

等也 花ノ長三尺ニョッルアリ其實ラ炒テ酒ニスレハ酒敗之敗 酒三人ンハ味正クナル由本草ライハリ又藤ノ枯シトスルニ酒 トンテオ歯ヲ堅クスト云〇凡草木ノ牙枝トスへキ物傷 とケハ活ス花 税三紫藤ラサス三酒ラかレハスレク琴マス 酒毒ラ解スと三藤ノ花生三をガゲ干ミシテを服ス酒醋 衣服器物三付テでダイニフナノ花シ用テスレハラツル酒 白楊 松房 油松 僧心 黑き 島人教之堂 桃木 山中三生ス紫藤ノ夢ノ如ク大ナリ松ノ気アリアな 葉ワカキ時食フへい花八番ノホョリ四月ニサキカこれ

高黎 國俗仙人草又了少分上七云夏白花四出一 カラクシテタテノ如をぬラガセハムラッ毒草ナルへと和方 之本草石草類三仙人草與此別ナリ高タテハ葉ノ味 仙人膏其汁ラ取テ松脂ニ和シラ膏藥ニテ八腫毒ラ ク莖方ナリ花蓝白クノ如梅本草其餘ノ書三テ末見 水春 分き栽っ

テハ飛廉ニアラス 飛麻ジュホテト訓ス飛麻ジモンホテト云ニマイフタドレホ 東八看積三似子名子三筋多之食スへし先輩ノ就っ

松房

等也 花ノ長三尺ニョッルアリ其實ラ炒テ酒ニスレハ酒敗之敗 酒三人ンハ味正クナル由本草ライハリ又藤ノ枯シトスルニ酒 トンテオ歯ヲ堅クスト云〇凡草木ノ牙枝トスへキ物傷 とケハ活ス花 税三紫藤ラサス三酒ラかレハスレク琴マス 酒毒ラ解スと三藤ノ花生三をガゲ干ミシテを服ス酒醋 衣服器物三付テでダイニフナノ花シ用テスレハラツル酒 白楊 松房 油松 僧心 黑き 島人教之堂 桃木 山中三生ス紫藤ノ夢ノ如ク大ナリ松ノ気アリアな 葉ワカキ時食フへい花八番ノホョリ四月ニサキカこれ

安服ニ用ヒンラモ旅衣ト云ンナリ野色ナリ中華ニモ忌 喪服フライ水トイノリ文本邦古代麻布ラウス墨涂ま 内ノフデ井寺七古水場井寺トカケリ場布三元製セン フチト云中勇ノ書ニモカツラシ藤ト云故三葛シモノデト云河 大ナリ葛布ハ和漢古水常服三年用ュ古俗カソララスへテ 布ニシリカタンラリテを貫者八服シカタン場布シ用三是藤 萬信日フザ灰ハ是本朝古代人表眼ナリ藤皮ハコハクテ 顯註密勘日藤皮レテラル布也近來素服トソ申ス 多ク生スレハ長シカタン一像ラノコンテ徐ハ切へン○藤衣上ハ 上互三相助ル事奇異ナリ是亦本草三山名 一本ヨリ苗

服十八

之或班就在碎炊飯食亦好或魔作動作烧餅蒸 其根似筋故一名筋根蒸煮地歌起甘美了一花 少人〇枚荒本草萬子根玉亦典此同日採根蒸食 ク三四尺アリー種ハ葉園ノ蔓短し花八同三十圖繪三 八牵牛花二似了淡紅色又白色了り重元十八人故三名 壮丹,俗呼為纏枝壮丹,此種本邦ラル事ラ不聞 飢ラ助ク葉モ亦可食時珍云一種干葉者已以粉紅 食○根ヲ鹽ニ和ノ煮食ノ凶年ニノ貧民根ヲホリテ食シ 又旋花上云二種アリ一種八葉三兩岐アー夏長

スロスコメデ

野豌豆 苗葉モイラニ似テ同シャアリス小ナルノミ又一種演 似タリ結實亦與豌豆相似了不同 豌豆葉八與豌豆相必丁四月 脚葉花花與豌豆相 食又無毒一種イラニタテ角子の二只二粒アリ花玉 大小共三葉八碗豆三似夕り麥里生又苗葉共三煮テ フ實ハ熟スレハ黑シ青熱共三食てン就豆三似テ小ナリ 名ラ綱目二様上云一種名ラ鬼猫上云實了リ國俗 名ライラ、上云三月紫白花ラ朋子四月三角子ラ結 四種アリー種八葉大ラアン葉ラ食フ其

自ホリ取テ製スへ 三天八粉ようウル不可用但約さると括夢根天花粉ハ 云炒了食ス果二充ツ王瓜根モ水飛スレハ粉アリ蘇肆 玉草上云秋三イタリテ熟ス紅色可愛藤肆是习瓜樓 仁トス非也王瓜ノ實ハ文ラムスへに似タリ故三玉ツサト 又名土瓜括葉上菜相似又り其實「ルク長」

藤天蓼 マタンド本草三種恭力記木天蓼作藤蔓葉似 , 柘花白子如東部無定形中瓤如茄子味辛敢之 自是藤天蓼一个八月然八種恭力所說木天蓼三八非 以當畫黎十云是疑十七下夕、二十り顏頌王極恭所說 ス藤天蓼ナリ康藏器李時珍天蓼三種アリトイへリ

品青木香 テ實小ラ本草上不合馬蛇鈴ノ實ハ大栗ノ如上イノリ ラ治ス風蟲牙痛ニツキクタキテ塞之性温ナリ然トモ 三八此事,不載實及芽葉食之積聚心腹冷痛痞塞 者葉ラ去テ瓶三枚ム恰梅花ノ如シ夏梅上云質ハ東ノ如 ノ大ノ如ク一房ニ多クミノル此草本草ノ馬・先鈴三大略似 リスル蘇ナル事ラ自知ルニヤ奇ナリ猫ノ病ライヤスト云本草 又扁き實アリ中ニチナン一藤ノ内ニ實兩形アリ奇異ナ 脾胃虚冷ノ人及泄寫ニハ生芽ラ食スヘカラス為シャスン ク小火レリハラチアリ中子茄子ノコトン蕪恭々記ノ如シ 也新芽ラを食了猫好テ食ン又其根莖葉ランリテ身ラス 辛ン實一種ナルユヘニ・タ・ビト云・タツ電ナリツハヤスメ宇 り故慈恭王實ラ無定形上了り扁き八食ノ尤好、味皆 ナリンマダン四五月二白花ランラク梅花に似タリ好事ノ 木蓼小蓼皆木ナンハ也日本ニタンニハ木ニハ非ス蔓草 不聞日本ラルが藤天蔵手り本草三灌木類ラセタルハ 水天蓼小天蓼藤天蓼ナリ日本三餘二一種アル事ラ 葉八山藤三似テ末尖レリ實アリ南天燭ノ實

ユヘン真ノ青木香ニアラス國俗昔ヨリコンラ青木香ト云

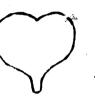
此草根八木香三似タリ倭方三青木香トアとラコシ用

醫方三青木香上云八木香也土青木香上云八馬完鈴

品和一个人 落葵 リ短クメ相ナラフ葛豆上云物ノ如シーもアハニ三顆で 見紙ラ染ム子似五味子生青熟黑 リザワカキ時煮テ食フ者アリ或日有毒不可食其性 似タリ末廣ク尖ナン實ハ焚アリ刀豆三似タリ刀豆ヨ 紫黑色女人以了真粉傳面上人以業園ク厚ク如 ノ良毒未詳不可妄食豆ノ類ナリ葉ハ兩々相對ス 杏葉、末スコン尖ル並葉柔軟秋結子。春下種其實女 海濱ノ野ニ生人葉ハ葛ノ葉ニ似テ厚ン林葉三 本草日人家ニウエテワカ葉ラ食フ其子熟スレハ

漢名未詳機豆ノ葉及實ヲ 英トモニ煎シ洗へハヨク 逐

熱ノ腫氣シ治スト云 ノ形如此 一般豆ノ葉



ノ形郊此 機豆ノ荚



和夏梅モドキ 即蔓藤袴 並葉如豌豆花長垂心事如藤花色正紫二 係アリ鬚ノ長二寸許括夢ノンケノ如クラカレリを八並 テ美いし蔓長クカニノ麻アリ葉ノ付タル小枝上花付え 繁行ス實ハ冬熟ノニュラノ如ク談黄三實紅三ノ觀賞へ 小枝上「處三相對心每節三生ス小枝ノ末三各鬚三 東八連翹葉ニ似タリ冬落ツ木ニ・トンで長夕

葉根枯

其香味ヲ知こ嫁葉ヲ按テ風之ト云へり其性亦好 ユビモラ食スへと其芳香美味凡好ニスクレタリ試っ食ノ 楚解二所謂幽願王即真願十八幽願王真願十一物也 哥一人人野ニムラく立い願ムラナキ液の誰カ深ケン若葉い 非真願也方虛谷日因花馥郁故得願名也古人 詩經楚詞ナトニ訴とし順是ナリ上代八沉香檀香龍 ノ葉ノ如ン水澤三多ン葉ノハリニ婦幽アリ〇延喜式三 綱目詳二辨之真蘭ノ集シカへニカクレハ邪氣シハラフト云 葉ハ大葉ノ麥門ノ如ク花ノ香ョト物也上代ノ真蘭ニハ り秋紫白花ラ開ク古歌ラテハカマラ多クヨメリ國信 リ八雲抄三王蘭ラフナハカマラニト云上書五フ葉ハ麻ニ モアヤマッテテク世俗三繭上云者ラ真繭トイヘリ本草 了了逐漸開覽日个人所種如麥門各者各幽蘭 野ナト諸香未來中華故三蘭》甚賞ス今ノ蘭上云モノハ 似テ雨はアリ香ョンホンテ彌カウハン是真蘭也野ニア ルナルへン、澤蘭モ同類異物ナリ葉ハ蘭三似テ岐ナン麻 逐蘇開覧三如麥門各者名幽蘭ト云八世俗ノ誤ライへ 芳草類 和名フデバグマスアランギーセ云古歌ニラニトモョメ

澤蘭い方蘇三多ク用土香味蘭ラナンリ 性好し上品ノガ草ナリ園園三必ウスン繁茂と易し 是亦真蘭ラ蘭トイルナルへン願草方樂三用ガレモ 筑前州神山移蘭記 三神山三蘭多千事ツ記セリ 朝古七此具蘭》用上ンナル心職僧圓月東海一温集 十二卷園韓神祭春日祭雜給料蘭十把トアリ本

オホスン三月上旬取出スヘン北風ヲ最ヲソル北方ヲ 寒月三至り屋下ノ暖處ニラクヘン上ラオホフヘン平地ラ 葉麥門三似タリ數種下り皆寒暑ラ良い盆三又タルハ 高クソウクルョン地ラウヘタルハを春厚キコモラニー重ニメ 是世俗三花ヲ玩賞スル蘭ナリ真蘭ララス葉八大

鐵暑月ハ日ニアツ、カラス早ラと凉地ニラキテ頓焼水 ヒトルへし花鏡三八魚ノ洗汁ランキ又大蒜ラスリテ水 三宜い繭ノコヤレーグンラノ油ヲ用ナヨン魚ノ洗汁モ可也 厚クフセクベン樹下ラ忌三陰地ラコノム又水ラ好ム水ラ シ、葉三小虫生スルラハ手三油ラ付或紙三油ラ付テスク いくソノクン座地ラ思山甚識器ララソルが、葉記れ 時肥シライム又茶ノセンシカスラ末シテ根ニラキ又センン茶 人、浴シタル垢汁ラカケタルだヨシ正二月傍苗生ス此 ノ汁ラソクン茶ノカスラ末セスンテ其でラケハ歴生シーア

ク短し黄花ラ開ク〇本草芳草類蘭草ラ載タリス子分 解正誤ラセタリン琉球ョー水ル風蘭ト云物アリコン ナリ小蘭アリ青並ト云アリ赤並アリ黄繭アリ葉廣 ニウフへし大願アリ葉大ナリ春花ヲ開ク春願トモ云稀 「ナリ是真顔ナリケノ繭ハ本草別三不出之願草ノ集 根ニアル虫去ル一説一切糞ラ忌魚汁モ勿用久シキ糞土 ン盆中ハ不笑茂ツハキン實皮ヲ去センン蘭根ニソンケハ タメ也二月下旬地ニウフンハ根にロク繁生シテナカへヤス カクル赫汁ラハ白筆ミテ付ル盆ニウラルハ座間ノ清賞の 三和ノソ、ケハ蟲自無上云又葉上三班点アル三魚汁ラ

木ニカケラク處ノ風蘭ニハアラス葉長三尺パカリ花如蘭 土・坑水、其法盡之矣春八雪霜寒風ラアテス夏八日ニ 水ヲカケズノヨシ モ香に常ノ願三同ン〇花鏡養願談云春不出雪今 有香良寒薩摩ニアリ琉球ノ山石ニ生ス葉ノ形及廣か 思之夏不日最恩失秋不乾多為肥水冬不濕意 アテス秋ハハくコヱ水豆汁ラカクル冬ハ煖所ニヲキテ

杜若 二生ス楚詞二出タリ根八良薑三似テ小ナリ實似豆蔻 與本草合へり我國俗杜若ノ根ヲ良薑トレ子シ砂仁 ヤブニヤウカト云葉ハ生薑ニ似テレスマス内陰地

馬蘭 本草芳草又教院本草三載タリ如澤蘭而氣 薦 高雞兒腸六月菊馬蘭皆一類別物ナ 臭一名紫菊其花にトノ菊花に似テ紫ナリと陳藏 共三生ス馬蘭ハ不香本草ニイヘリョスガハキハ顔香ン 也馬蘭ハ水溼ノ地ニ生スト云へリョメガハギハ高下ノ地 器イへり其葉蘭ニ似テ大た故馬蘭ト名ツク或是三 メガハギナルヘント云へに不可然ヨメガハギハ蘭葉ヨリ小 別ニヤフニヤウカ又山ニヤウカ共云草アリ典此不同 トス伊豆宿砂ト云アヤーシリス國俗アヤーリテ杜若ラ タキッハタトヨムガキッハタハ燕子 花ナルへい杜若 スアラズス

白蒿、葉白シテーツジケリ兩と相對なス母子草:伙 テ葉セパン花細三子子業也色黄白也俗三河原 母

子草十五

雅 高 こ多し若葉ラユヒキテ食スヨスカハキニ味ーナレリ圃こ ハヨモギノ變シタルヤクヨ見き香蕉ナン郊野河邊近道 葉前廣後小花實與青萬相似型立ノビラ葉

可植

波秋此萬**婚青之採藥者在人不識者高**與黃花 細其氣芬芳嫩葉可食茵蔯及黃花蒿三次タリ至 實ラマキテ生ス各八根葉共三枯ル色波青葉極

KARKE SA

1 OFF

黃花蒿 秋不歇今按本草綱目灌木門山磐ノ集解二芸草 香聞數十步其葉類頭豆作小叢生秋間葉粉白 廣義日置書帙中去霸置席下去蚤虱我園庭間 云正月二月ル七種ノーナリト云非鳴ギャウハ風 独草ナ ノ事詳ナリ此草本那ニナン首年長崎ニ多來ル近年 如汁南人謂之七里香此草葉香至冬枯自春至 緑ナリ黄花高八秋三至ナ業色黄ミンテ早クンが文集胡 八不來上云 リ正月三葉アリ黄花蒿ハ正月三葉末生二三月三生ス 桑、註:雞桑ハ葉花ニンテ而夢トアリ黄花高メ化ノ字を 羅蔔二似タリ黄花高一云八花黄た故三アラス本州 亦同意ナルへ心香八青萬二及八人或曰黄花萬ラゴギヤウト ラ指テムへルナルへント若水云リ青筒八秋三至デモ色 ヤーリテ是ラ青高ー大別也化ノ字ハナニ非ス葉ノ細辨 藥三不用上八七神動三用之家園三可種 高之别混而了之**黄花高亦有,被香不如**青高之 香氣烈青蒿治虚夢骨燕且多功能本草可考常 說文日似首循徐日漢種於藏書之府月令 葉ヨク青萬子似タリ並八青高ヨリ大ナリ人ア

麝草 東苑日色紅而甚芳香今按二此草葉八薄荷 Jest a Marie

二似テ少アカン手ニテ其莖葉ランジケハ其香麝香ノ如い シャ・ウクサラ水極上云八非也

药档 之云辟瘴夷去胸中惡氣个按長崎一來心選羅人 有之被人食檳榔者以此葉及蚌灰少許同嚼食 蘇恭日取葉合檳榔食之车而香也又曰蔓生葉 草芳草部三药醬アリ蜜語三キント椰スル物ナリ本草 ナーノイノルハ彼國三客アレハ先キン三娘柳ラ出ス本那 似王瓜而厚時珍日今兩廣滇南及川南諸州皆 三テ烟草シ用ルカコトレ又蚌粉ラモ少ラン工食スト云本 倭名抄」タント訓ス非也」タンパ藤天蓼ナリ本

此物ラスタル器ナリだ成大力桂海志三此器ノ事ラ 草ニイへル弱を言う合へり交趾東京ミを亦如右スト 國ョリ來レルキンラノ葉ラ見ルニョク王瓜ニ似タリ香氣 云今茶人ノ龍ノ香盒ニキンで手上云アリ即異邦ニテ イヘリー器三三室アリ石灰上葯醬上檳榔ラ入ル異

水蕪 葉似聲香而末銳並方生則有香乾則無香 水藤一云非ナリ別物ナリ水藤八本草芳草類載之 又似紫蕪其葉兩七相對一名雞蕪世俗麝草ラ 你香薷而臭惡本草芳草門

油ト云誤ナリ 油マーリテ兩衣ラル是紫蕪ノ類也國俗在油ラ桐 白橋乃在也故本艸ノ目録ニアリテ後ハ在ラレルナス 本艸綱目紫燕集解時珍曰其面背皆白者即

外 百和香 タキモノ事ナリ草ノ名三井ス千金方口病門 今集百和香ラ詠せし歌アリ藻鹽草三百和香ハアハ 紙封杜詩集註云漢武帝時月支國進百和香古 タナモノ・方多シオレト常三合スルハ六種ナリ梅花 春荷 セタキモノ也上云へり後小松天皇タキモノ六種。序三日 日百和香二十味為末漬以白蜜和凡磁器中蠟

種會 葉夏朔花 落葉《侍從命我上也黑方士之意文 甚多し不可收數宋洪易又香譜"百和香ノ方多し 拾茶抄六三薫物ノ方六アリカノ小松帝六方ノ外盧 橘アリテ落葉ナン毎方皆葉品アリ近代バタキ物ノ方 コレ又草ノ名ニハアラス琉球國ノ宮香上云物丸

アリ又形異ルモアリ其香龍延香三似テカロン合香也 クンテワタリハ外ハカリアツサー分半上三宮ノ字ノ古文

水草類

フ今按三清心寧神補中強志補煙益損ノ能アリ凡 諸家ノ本草三蓮肉ノ性甚好コトラホメタリ心脾ラ補 K BX BLAIN

芝湯ノ方アリ蓮肉ヲ極テ炒燥カン一斤粉草一兩微 坐過饑氣乏則飲一蓋大能補虚助氣日本三テ 秋黑堅如石ナンラ云別一種アニ非ス薛立齊本草 為石蓮子時珍日石蓮到去黑殼謂之蓮肉个藥 世上三唐蓮多り植了品多し〇居家必用十一卷水 肆一種石蓮子狀如土石而味苦不知何物也又 八〇石蓮子上八本草蕪須日其的至秋黑而沉水 セス生藕ラツキクタキ汁ラ取り水飛心陰乾三心熊館上 甘草ラ蓮肉ノ二十分一加スシ良方也 ○蓮根ラ煮ル 炒右為一十一千八鹽少許沸湯點服此湯夜 其花紅アリ白アリ紅白一處三植い白い枯ル近年 花葉根莖子等數品写用心事多千八蓮ラ第一トスへい 似タリ故ニハチスト 云パスハ略語ナリ凡草木ノ中一物ニテ 荷葉上云蓮鼻ハ帶也蓮房八貫ノハリの房也蜂房三 正トハ花パノンベナリ糖ハ蓮根ナリ糖節ラモ用工葉ラハ 約言及李中梓力藥性解三蓮肉上別物上又誤ナルへ 日嫩的性平石蓮性溫〇按本草石蓮內蓮子至 一鐵器ライム銅器ラ可用醋ラ少加へテニレハ黑色三要 云實ノ門ノ青芽ヲ慧ト云味苦ン蓮花蓮ニラモ用ユ 蓮ハー物ノ丹川ル處多シ實ハ即蓮内ナリスコレヲ的

花上同〇唐蓮ノウヘヤウ花譜二詳ラス 葉無花時亦自香と今武之然り蓮心三立儿業の香を 别:石蓮子上稱又八不可用〇計意周詩話云荷

芝實 テ抹スレハ米粉ノ如ク味を亦甘美ナリ蘇トン食トス毒 アリテツメリ其内三寅数十颗アリールン實ノ内白クレ 川實八並上ニアリゼノ形雞頭ノ如ン故三雞頭實上云苞 り絲アリワカキ時皮ラ去テ食フへし根ハ煮テ食フ芋ノ如 ナク性ヨン凶飢ヲ助ク池塘ニ多クウフへン莖ノれニアナマ 葉八蓮三似テ大ニンテ葉水上ニウカビ鉄アりハリア 一名凌又作菱水中二生人實四角三角兩角了

リ果トス生ニテモ蒸テモ食フ飢シ助ク河内州茨田池 三多心花黄白色八九月實シトル性不好トイへ形山 年二尺ノ飢ヲ救ノ古人コンヲ用テ飢體ヲ救シ事合璧 事類ニ多ク引ケリ 〇ヒンノカララアツメヤキテ香爐ノ 灰トスヨク火ヲタモツ

ニテウンゼリウバセリト云三葉デニハアラス葉ニロカリアり 者で亦でレナリ本草毒艸ラノセタリー種葉型實共二 テ花不好人是习食又無毒味三葉片ニラトル食スル 石龍芮三似テ小ナルアリ可為別種西土ノ俗名とき 京都ノ方言ニタカラシトモスタゼリトモ云筑紫

してイバ

ノカサト云

狼 捷瘧今按三醫學六要三石龍芮二種アリー云天 灸三用八毛良ナリ此種シャル法今 本那民俗三モ 天炎自灸葉及子氣味辛温有毒不堪服食止用 カハホ子ノ花三似タリ毒草也人食セス〇醫學六要,日 レル者アリ草シトシト云 山人截處采按貼十口一夜作泡如火燎故呼為 石龍村二似于葉三毛アリロカリナン花黄ニンマ

至秋堅成即謂之桂時珍日短小於草而中空皮 本草蘆集解項日葵戴似草而小中實即获也

兼也其身皆如竹其葉皆長如箸葉又曰毛甚曰 華之初生日葭未秀日蘆長成日華項日蘆葦通 爲一物也〇采葛詩朱傳曰蕭於也白葉莖廳科 生有香氣祭則械以報氣状ハラギョント云淀川其 厚色青 養者炎也秋也在也其最短小而中實者 草三、蘆ノ集解ニノセタリ 八其中トラレリ葦ー「シリ生スのタル物ナリ水草ナリ本 外處々ニアリ山野三水邊ニモ生ス中實也ヨンノ如レ火

こ似タリスョク睡蓮三似タリ葉ノ形葉菜ノ如クニンテ其 關雅ノ詩三訳セル持葉是ナリ又替上云其葉ハ馬蹄 アスタスなるない DEF

**持菜が葉三かタリ西陽雑組及本草綱目萍蓬草千** 睡道上葉ハ相同シテ花異シリ蓴菜ハ葉ニ切えい處ナシ 小蓮葉ノ如ン村菜睡蓮ノ葉ハ切レタル處アリ ハ根アランス蓴菜ニのタリ凡蓴菜持菜睡蓮此三種 シアサンハカハホチニのタル水草ナリアサンハ根アスル持、菜 江州唐崎ノ水中三多シ持、菜シアサット訓えい誤ナルへ 面ニウクラ軍ノ黄花ラ開ク並根長レ花モ水面ニウラブ 端分ル事睡蓮ノ如ン蓴菜ノ葉切レサル三異ナリ葉水 ハタテー類ナリアガッカハホチハ荇菜トー類ニ非ス荇菜ト ロツンクサハ京都ノ方言ナリ此花ロソンノ時ヨリツホム

畿丹江州西土處々三多心他州三多心 テ水中ニカクと重い又水面ニウカブ放三睡蓮上云北戸録 テ製重ナリ蓮ニ似テハナリ具葉如行其花夜ハツボミ 三唐ノ段公路北戸録プ引ケリ夏秋花サク花白クレ 三所云上相同他花三上ナル物也轉來持禁ノ類ナリ 倭名ヌナハ沼ノ中三生ン益長クノ繩三似タリ故沿輝

英ナリ可食葉ハ持菜睡道二处テ少長クシ不缺是

州ノ池中三多ン今ノ俗ハ聲ラ稱レテ蓴菜ト云是亦

ト云意ナルへン嵯我ノ大澤ノ池伏見宇治ノ池沼又諸

ラ次為,異葉ハ水上三アへり並ノメクリニ水ノ如ナル物ア

大大中本主人

PE

川台王海台三似文り處々三下り富士山人麓柴川

湖沿ヨモギ 鹽ニツケテ久三堪へ違三街ス ノ如ン艾ニハ葉ノ本ニ小葉やり沼ヨモキニナン葉ハヨモキニ 似タリ女上同類二物力 大葉也並初生葉未生時食又苦零人並立

脾胃虚冷ノ人不可食又發養三月ョリ八月二至テ

リ是ラ賞トス煮テ羹トン或酢味曾ニテ食フ性寒滑

水多之歌三又甜心九月ヨリ十二月三至テ硬クノ味苦し

即河薀 處々小流言リ海温二似于其色青ノ糸シッカ子 爲学 勃臍上王云時珍日一並直上上無放葉狀如 能鬚个按其型才亦并二似テ小也燈心草二似テ大 タルカ如クランテウルハン桑トン或酢ラテ食ス味ョン但 生ス熱池苔八肥後ノ菊池川ヨリインホレテ連ニラクルア 北三向テ流心小河戸り他方三向テ流心川スナント 小磨ラ發ン身ラ痒クランム病人及有磨人食スヘクラス マノリニ似タリ肥後水前寺苔八水前寺村/川三生ス乾 三柴川苔アリ富士ノリトモ云日光苔八野州日光ノ川三 云漢名未詳凡水苔ノ類ノ中三壁蘭ナト毒虫ノテア シテ厚き紙ノ如ナルラ切テ水ニ浸シ用工此類諸州ニアリ り食之則吐血而死スヨク擇フ、シ安三食フ、カラス

之製作粉食之厚人勝門不飢了人了三四月苗生 ス舊根カンス慈姑ノ如ン花ナン食物本草日又一種野 也並ノ内空ン場州何州三多ン根八種姑三付テ黑ン 生者小而香 果トレテ生ニテモ煮テモ食ス教院本草採根煮熟食

眼子菜 延ス水上ラブナラス葉ノウラ紫色也水面三葉ウラブ葉三 筋アリ光アリ俗說三陰干三万為末服又治傷食審亂 甚有效煎服亦可ナリー云三才圖繪草木第十卷 眼子來生水澤中青葉背紫色並柔潤而細長可 倭名に公して一云水中三生之莖長々水中三蔓,

龍舌草 風尾草 並高心葉ハンキニかタリ秋開紅花世俗コンラ 月採 葉花澤桔梗ナリ六七月探テ湯淖脈就再泡鹽炒 而大處人有之本草水草類載之西土ノ方言水かっ 数尺トアリ○秋荒本草曰眼子菜果之熟食六七 三出ナリハ月三升ク質ハ三角アリ細ナリ リー云水カハケハ葉枯ル又水葵上云葵葉三を似タり花い 少中元二人鬼二水ツ祭山故三ツカケ草ーモ云三火地 三才圖繪草木第十巻ラを今其圖ニカケル 水中二生又葉如車前水中生花花白如葵 ₩ 其葉如此

LYSTATION !

武 草也鄭然通志云彫蓬的米茭可作飯食黍 蓬即茭之不給實者惟堪作薦故謂之薦,○東垣 唐育ナリ交趾東京三有之故西南洋ノ商船是ラ編 俗二水葵トモ澤桔梗トモ云花色桔梗三相似タリス 食物本草雕胡一名茭白又名菰根糟食之甚准 有白花者葉圓而短與碧花者異 找食或醬鹽,拌食生食亦可上了り水澤二生之葉 厚了慈姑三位多一夏秋紫碧花ヲ開堪文可愛和 〇今按「コモノ根料理シテ食ス味ョン)交替カチャンハ 本草三就米一名茭米一名雕胡時珍曰菰本作

鹽淹三人〇萬信按本草旅二種アリ一種八秋結實 被國ノ舟ノ帆三用小此物也其實ラ安達子上云柿ノ テ船ノ面ラフセキ又船ノ帆トス葉長キ事二三間廣サ 草蘓須所謂菰生水中葉如蒲華上云是ナリ是ハ 謂恭蓬ハ實ノナラサムコモナリ日本三多シ水草ナリ本 日本ニハ如米實ノナル旅アル事ラキカス一種ハ鄭樵所 サチノ形= 似テ大拇指ノ大ホトアリ密煎 三ス又根ラ 三寸或四五寸葉ノ形蜀黍ノ如レ又似竹葉如蘆葉 如然就米也可作飯飲食是沙就米九八小沙放米 八典籍便覧ニ見ヱタリ教類ナリ日本ニ異邦ヨリ來ル

品和驚節 垂タリ可愛慈姑ノ如ク小キ園根アリ或日溼草也 通志及本草行義三見エタリ 三似タリ七月白花ヲ開ク其形驚ノ飛ニョク似テ一足 葉ハ澤潟ニ似テハナリ背三角アリスをデメリン葉

名ツクルハ編テコモトスル故ナリ中華三モ薦トスト 鄭樵

陽相包裹未が散海草ミコモアリコレト別ナリコモト

學記角恭條下日風土記以菰葉裹黏米以象陰

午~粽ラ包ムモノ是ナリ中華ニモ荻葉ニチでキラ包ム初

又願註密勘三花カツョトハコモノ事也トイヘリトコモハ端

米ノ如クナル實ナラス國俗マコモト稱ス古哥ニモ詠せ

蓬草ハ莖ツョクンテ水上三立ノホリ根地上ニアラハルアサ ヲ收ム又ヲカカハホ子アリ陸 生スカハホ子ノ 花ニ 似タリ 珍力說可考檢流ノ外醫及女醫コシテ用之性ョク血 秋ノオミテアリー莖開一花堪賞本草陳藏器李時 ノホル葉モ花モ水面ミウカハス根大ナリ夏月黄花ヲ開キ 非水草山三七生人 池沼ノ中三生ス葉モ花モ萍蓬草三似テ別ナリ萍 

ウカヒ水上三不上花ノ形色ハカウホチニ似タリ五六月

ハ莖カウホチョリ長ク水中ニ横タハリテョハク葉ハ水面ニ

子ノ葉ハ水上三立ノホリテ水面ニウカハス荇菜ラアサト訓 有トモナキ我身哉コレアサン水ニウカヘル事ライヘリカウホ 根アラルス又古哥ニ水マサル沼ノアサンウキテノミアルハ アラハル・ライヘリ持菜シアサ、上訓えんハ誤ナリ持菜ハ サオフテフ澤水ノソコノ心ノ根 ラゾアラハス是アサン根ノ 水面三黄花ラピラク新六帖光俊ノ哥三云見いスアナ レ萍蓬ラアサント云ハ皆非ナリ

菅 アリテ香附子ノ葉ノ如ラノ長ン笠ラスフ近江伊勢多ク水 本 邦 背ヨリ管ノ字ラスケトヨメリスケハ水草 葉ニカト 類亦多シカルモアリ杉藻アリ松藻アリ

石能夠 草ニアリ夏並ラ生ン穂ラ生ス穂ハ蝦燭ノ形ニ似タリソンニ 白粉柔朝宜為家也今按スケノ類多し水澤三生ス 之池可以温管朱子傳日管葉似茅而滑澤莖有 付タル金粉ハ花ナリ是即蒲黄ナリ八九月三葉ラカリテ 席トス凡蒲黄八血症ノ諸病シ治ス本草可考 田ニウ、テ利トス他州ニモ多グウフ詩ノ陳風ニ日東門 小ラ熱實ス燈心草八粗多熟虚白ナリ同類異物ナル 葉ハ党三似テラシ有背而柔ナリ苗ラ食スル法本 燈心草三似于短二名龍鬚燈心草ョリ

品和

順和名三萬ラ井上訓之又驚尻刺上訓又似笑而 細

DEFE.

堅宜為席トイヘリ合俗為尼指ト云物水草ニテ三角 綱目燈心草龍鬚ノ異名三萬ノ字ナン アリヨハン為席やハラカナリヤフレヤスレス草履トス本草

燈心草 ヘテ席三織リテ属利不及于備後之産 後三多ク此草ッウヘテ席トン諸州ニウル諸州三多クウ 心トス又淋症ノ薬ニ加フ敗席更良ト本草ニ見エタリ備 倭名井上云水田三多クウヘテ利上ス席上心燈

品和一点局 テ三角ナリ織テ席トス琉球ョリ此席來ル薩州ノ七 島ヨリ多ク出ル故三名ツク他州三を多し七島席上名 海邊鹹淡相雑ハル淺水ノ地ニ生ス燈心草ニ似

席ト云疑ラクハ是ナルへン 三日又有,拉至一人名江麓子乃草必完生海邊可為 ツク民用ニ利アリ本草温草下決明ノ附録注芒で

井八俗ニフト井圧又唐井トモンとケ又佛杖トモ云燈心 璞曰蕭廳完細則莞蒲為兩種順倭名抄三莞草司 云莞又云燈心草生池澤中周禮有莞選補筵郭 草二似于甚大ナリ液綠色高五六尺一家ョリ叢生ス オホ井上訓スオホ井八大繭ナリ井八燈心草ナリオホ 池沼三生ス秋川テホレ町席トン園座トス 斯干詩下一號上電朱傳日莞浦席也大全僕氏

一大中人并法人

つませ、

ラモダカ 辣是ナルヘン タカト云別ナリ〇本草綱目二十八卷水草門三睡 し可賞一處三七上下三多夕花開夕澤寫ノ和名モラモ 子ハ母ニ付テ生ス慈姑ノ根ノ夢ノ末ヨリ子生スルニ異ナリ **ピアリ根小ナリ慈姑ノ如ナラス不可食舊根ヨリ生ス** 葉セハク長ク葉ノキレコミ長レ五六月單白花ヲ開ノニ 種千葉ラモタカ葉小三花千葉ラノ白ンホウツキノ大ノ如 葉ハヨク慈姑三似了異り葉莖慈姑ヨリ小ナリ

外 牛尾薀 小蓮花 小草也葉八水葵ノ如ク花ノ大八小梅花ノ ク秋ノ末白花ヲ開ク可愛 **救荒本草云生泼水中葉如髮莖如藻冬** 如

澤桔梗 ギナン 蕎花ラモ澤桔梗上俗三名ツク奥此別ナリ 月和魚煮食夏秋亦可食 葉似枯梗花碧色ナリ根白心澤中三生ス浮 ラモタカノ葉ニョク似タリ小

三出ナリ凡草三大小アリ是小ラモタカ歌 33

草也アギナシ七月白花ラピラク花

6

外 軟影三人食スン清潔ナリ稀ナリ 山川ノ石三生ス短クタ褐色熱湯三浸せ八青クナル

品和 海濱斥地三生ス水陸共三宜し葉八香附了し 人大山大直之

プラオスする

ナリ是上一類別物ナリ又管モ一類ナリ 上ル順倭名抄三荻草ノ和名ヲク、上訓ス莎草ハ香附子 具トン又繩トス武人是ヲ用テ陣中ニ飯ヲ包ム苞トス 二似テ背ニカト一條アリ織テ短席トス農人コレラ以馬 能ニテウツ、レス牛ク、アリ相似テ大ナリ其用小ナルニラ

海草類

海等 於海藻昆布之類〇今按海帯八海中ノ石三附テ生 登人取就之柔朝可以繫束物醫家用之下水速 ス黑クメタテ級アリ性冷利ナリ虚人食スレハ泄利ス法 本草載之出登州圖經云似海藻而粗且長

食煮た二醋ラかフンハヨクニュル〇アラメラ煮テ兩水ラソケ 是ヲ学頭ニ多ツケテ火ラケス帯トス 八大蛭上ナル順和名抄日滑海藻和名阿良女〇俗云 **瘀血消腫毒治痔疾壯實人食乏無害虛冷人勿** 

石帆本草綱目載之又事言要玄曰此海樹也紫 アリ事言要玄ライヘルカかし其色サラスリタル如ナルモア 中以為玩漳州府志ニラスタリ〇本邦處々海中ニ 黑色其根株若實其枝柯如鐵便相勾聯高一二 尺許以其扁薄如帆故呼為石帆今人取置花盆 リ或黑白褐色アリ其根石ニッキテ生ス異物ナリ人 大台本道法八

心太 ツルモ ナリホトモト通スコ、ルモナリ閩書云石花菜生海石上 性寒夏月煮之成凍今按三是心太たべし但綱目ノ 好語ノ如シ煮テ東ルモノ也細ニサキテ 好像ノ如ニンテ食ス 食ス味ョン越後ニアリ 性寒病人虚人不可食庭訓:西山心太上云八首 石花菜ラ説ケハ異リ今心太ヲ國俗トコテント稱ス ニテワサト作りナセル物ノ如シ丹る」を亦人ノスリタルカ如シ 其大井智ヨリルナリ長き事數尺ヤキテモ煮テモ 心太八國俗ノ所稱之名也コンロハコンル也フトノ友八木

海苔 龍鬚菜 許色始青居人取之沃於水乃白又名繒菜人類 珍之今、按備前三白藻アリ細緑ノ如こシテ青白水ニ り往々殺人不可食又ウケウト、云物アリ紫色ナリ 和名抄ラセタリ是亦心太ノ類煮テ凍トレ食ス毒 類別種ナリ是等漢名未詳非佳品不可食 綠色如亂絲生海泥中閩書 出夕り 王氏重苑日生海中石上並如鄉長懂尺

嵯我邊ニコレラ製シテ賣シカ名物ナリシュヤ〇海髮順

若水日又北土及他州三有之ソウナー云

奥州松前エソナトノ海中有之石ニツキテ生ス長

浸セハ白クナル煮食シ或水ラタシスニソーア 定入家白ナリ

鐵ナヘラ用ユヘカラス楊梅磨ヲ患ル者昆布ラ食スレハ ル事金緑烟台トクナルアリ凡昆布ラ煮火の銅鍋ヨシ セス京都ノ市三見市ラ刻ミウル者多ン細羅アリ細ク切 數文水上三浮フ是ョ以家ヨフク傳へテ若來テス引市 人コンラへウル若狭民布上云名産上ス若狭ノ海三生

系門合 ナウメンニウ面三帝生セストス

裙帶菜 索勢苦 鹽ニッケ成灰ニ和シテホシ用工孩子食又或薑醋三浸シ 食刀其漢名上性上未詳冷消ノ物不益于人 ガウシニ似テ長き凝也色黑之味甘少美ナリ 食物本草載之和名抄日三年人處之海中三

並ノ傍ぶツキテ厚ク耳ノ如ナルラメニ、ト云莖モメニ、 多シニ月ニトル伊勢ノ海三産スルラ好トス又紀州ノ賀多 患,ワカメラ食テ腹痛スル者モ亦可食之 尊是ナルヘント云〇生薑上醋三和ノ食八八無腹痛之 美ーン又監督ョッケテ食ス〇性寒味甘心有虫積 患腹痛人不可食或日本草二十八卷三所載,石 可也生ナルラモ食ス又益ラモ食フ並ハコトニ甘滑ナリ 三産スルハ脆クレテ味ヨン珍賞ス為茹而食る煮高羹亦 本草水菜類三載タリ海中石三付ラ生ス青色

LION IN CALL

ナリ取テ乾セハ色紫ナリスホシテ色青キモアリ味甘

カナメ 同心 ルラキガミテ羹ニ加レハチハル段民ノ食也又此物等頭 ラ少ノメバョシト本草三見マタリス河苔ハ水草門ニシルス ニ多クッケテ火災ラケスニ用ュ火ニモアズレテョンアラメ ニョリテ其島ノ名ラモウツフルとト云凡此ノリ諸州有之 苔ラトリ露ラ打フルヒテホス故三名ツクト云コノ苦ノ名 雲州ノナ六島で皆繁菜ノ類ナリウツフルにトハ海中ノ 心處を二多少武州ノ溪草ノリ品川苔下總ノ暮西ノリ 地ニョリテ形色少カハル紫菜ラ食シテ腹痛スルニ熱醋 又サカラメト云海帯ニ似テ細ク狭し皴アリホレタ

品和

海羅 其大ナルラ水三洗干シ野へ煮テ棚上ス紙エコレシ用一天 水中順和名抄云水松狀如松而無葉和名美流 生ステイカキシ小ブノリト云羹トレテ食ス其味甘い 又日海松〇性寒虚冷人不可食石花菜ラミル 訓えい恐クハ非さる 順和名抄云不乃利〇處《海濱八石三村子 本草陶弘景日狀如松天而可食項日生海

用多シ又火三塊シが漆三和ノ紙ラッド合えに用土

鷓鴣菜 閩書日生海石上散碎色微黑小兒腹中 有蟲病少食能愈○甘華上同煎用土八小見腹中

蟲ヲ殺ス初生三月五

雞冠菜 順和名抄二出了其形難冠一如心食了心红

色也附石而生

高ノ足 一根三枝多シ短シ葉形如海松,只甚薄褐色

鋒兩又アリ煮テ可食

鹿尾菜 ニョメリ海中石三附テ生ス園ニノ末尖ル乾七八黑色よ 順和名比須木毛伊勢物語ミジキモラ哥

煮テ食ス質民外ニシュテ銀ーン粮り助う

ナノリソト名ッケン事ハ日本紀九恭帝紀夏マタリ倭 本草ラセタリ集解ニイヘル處ナノリソニョクカナヘリ

馬故云神馬草也篤信日此說了一夕出處了見不神 名ツケン日本紀人本縁ランラスンテ安三云ナリ凡下 俗又神馬藻上云和名シナノリソ上云土三神馬三八 クモノ过海中二生ス短キ馬ノ尾ノ如ク細葉如絲節な 馬藻ト書故ニカクノ如ク附會セルナルへし是ナノリソト 功皇后之及異國時船中無馬。秣取海中之漢師 連ル枝多と生ナル特果に湯三人と八青クナル魚、野地 コメリはだタルラホダハラト云倭俗正月春盤ノ上ニラ 學集ノ説信シカタン萬葉集第七第十巻ニナノリソフ ル事ナカレト云義ラ以了神馬草トカケリ下學集日神

神を期ノリ 品和 松藻 品和ナゴヤ 可食 ヨリ大三としキョリ小也飯三加へ食スル事にしまり如え 往在發腹痛不可食 也煮食ス又沸湯ニュモキテ味曾ニ和ノ食ス性アン ヘリワカキ時ユモキ或煮テ食ス脆ク味ヨン 気ラ治スト云海草ノ上品ナリ本草三甘草三反ストイ クナルモノ多ク枝ニツケリ見事ナル藻ナリ毒ナン俗三加 海藻三似テールン枝多ク細長し色青」或褐色 松杉/葉二似了青之下上三生又生三丁七乳丁七 海中石上三生ス副髪ノ如シ青黑西ーナゴヤ

悪ノリ 味ョン 性滑泄虚冷ノ人不可食發腹痛性不良 若狭ノ海ニアリ岩三生ス職月ニトル黒クウルハン

鮫皮 当 經ノヒモ 星多クシテ其處少高シ味ハ經ノ級ヨリヨン稀有ナル 食スレハ脱ク味ョン醋ミソミテ食ス テ食乙性冷利食物本草所載苔菜シ向井氏ハモツ 取タルハワカクステラノ良い鹽三流セハ久三堪ノ蓋醋ニ 本草時珍云縕亂絲也其葉似之故名正月 ヨコ五分許長二三寸青色ナー飲皮ノ如ナル 是布三公子小也廣二三寸 長五六寸ハカリ

奧津海苔 厚可食紫色水三洗上腰日則變為黄白色駿州與 形縷々線ノ如シ鹽醋三拌食ス味清解トイヘリ **チルヘント云ヘリ食物本草日苔菜生海中、浮波面其** 廣六七分或七八分長五六七寸許頭

津ラリ

鹿角菜 本草水菜三載文大寒無毒解熱然 医性不 良其形鹿角三似テ小ナリ海中岩間三生ス乾レ收 メ用ル時水三浸之醋三和又食フ リタンキテ奏トスホタンラニ似タリ又旅八水草ナリ別古 細型長クツたノ如クナル小キニソ丸キ物多クツケ

不可食 海草之性皆寒冷滑泄能傷脾胃伐發生之氣 続三ナレリ海草ノ民用三利アル事亦大た哉然 枚舉、凶年三八貨民海草ラ取食に飢り助った事山 之類各處土地ヨリ異品多心解知りカタン不可 本草所載水草苔類不過于十餘品無海草門 脾胃虚冷之人不可食又海草有蟲子之毒者 凡本草載諸海產甚略矣本那海中所產漢苔

大和本草卷之八

OFF